

課外活動の奮闘

本学学生・教職員が 5年振りにRUN伴へ参加しました。

「RUN伴(ラントモ)」とは「認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい地域を創る」をテーマに、これまで認知症の人と接点がなかった地域の住民や企業、商店、学校などが認知症とともに生きる本人や家族、医療福祉関係者などが一緒にタスキを繋ぎながら走る、まちづくりのイベント活動です。

三重県においては、新型コロナウイルス感染拡大を受けて活動を休止しておりましたが、これまで開催していた「RUN伴」をより地域に根差した活動へと展開するために、2022年度より四日市を拠点としたRUN伴四日市実行委員会を発足しました。

今年は本学も数年ぶりの参加となり、イベントが復活したこと、また本学も参加できることが何より嬉しい限りです。なお、本学からは学生7名、教職員2名が参加させていただきました。

当日本学は、大学正門前にてタスキを受け取り、次の中継地点であるヴィラ四日市でタスキを繋ぎました。この区間は約3.5kmのウォーキングルートで、多くのドライバーや歩行者の方にアピールできたと思います。

印象的だったのは、タスキを繋ぐ中継地点であるヴィラ四日市にゴールした時、利用者やスタッフの方々が盛大に迎え入れていただき、車椅子の利用者様も一緒になって、施設周辺を歩けたことです。手作りのゴールアーチをくぐり抜け、タスキを手渡した瞬間、RUN伴の思いを繋げた気がしました。

最後に、イベント参加に自ら応募してくれた本学学生を誇りに思うとともに、今後さらに拡大していけるよう本学も全力で応援したいと思います。



参加した学生の感想
臨床検査学科1年生
加藤美沙さん

RUN伴は友人に誘われて参加しました。歩いたり、少し走ったりして体が温まりながら話をしたこと、絆をより深めることができたと思います。非常に充実した時間を過ごしました。また、施設の方々と一緒に歩いた時は、景色を見ながらお話ししたり、笑ったりして心温まる素晴らしい経験をしたことで自分の中の認知症へのイメージが変わりました。今回参加して、認知症への理解と支援の重要性を再認識し、これから積極的に関わっていきたくと思いました。次回もぜひ参加したいと思います。

本学学生が 「全日本バレーボールクラブカップ大会」 三重県代表に選抜されました。 おめでとう！

看護学科3年生
中西桜さん



令和6年8月3日、4日に大阪府のAsueアリーナで行われた、全日本バレーボールクラブカップ選手権大会女子の部に三重県代表として参加しました。この全国大会は三重県の上位2チームが出場することができ、三重県1位代表として全国大会の出場権を勝ち取りました。リーグ戦では、後の全国1位、2位となる強豪チームと当たり惜しくも負けてしまいましたが、一生の思い出となる忘れられない大会になりました。このチームは社会人や専門学生などの様々なチームメイトと共に力を合わせ、楽しみながら活動しています。小学1年生の頃から続けるバレーボールを今もまだ続けさせていただけている環境にあることにとても感謝しています。領域別実習では、バレーボールで培った体力、チームワークを活かして、頑張ります！

テニスサークルの 学生が、 大会に参加！

看護学科2年生
三輪将之さん

令和6年10月27日に自分がテニスコーチとしてアルバイトしているテニスクラブ主催の大会に参加しました。結果は4勝0敗という結果で、現役復帰戦としてかなり良いコンディションかつ結果を残すことができました。これからは三重県の大会に出ていき、目標とするのは「三重県選手権本戦出場」です。自分の得意なプレーである、バックハンドで展開するプレースタイルかつ得意ショットのジャックナイフと回り込みフォアを武器に、高校生の時にも達成出来ていない目標に向けて、日々の空いた時間を見つけて練習やトレーニングを行い、勝てるように頑張ります！応援して頂けるととても嬉しいです。



<体育会系> 令和6年度 公認クラブ・ サークル バレーボール部 バスケットボールサークル ダンスサークル	<文化会系> ボランティアサークル くれよん いるえんびつ ランサークル とことこ テニスサークル 弓道部 運動部 NEW 軟式テニスサークル NEW 軟式野球部	災害医療サークル 生化学研究会 生化学愛好会 顕微鏡愛好会 軽音サークル
--	---	--

オレンジの風

四日市看護医療大学
教学課
News

Vol.59
2025.1月発行

Yokkaichi Nursing and Medical Care University

学祭無事終了しました！

10月26日(土)、単独では2回目となる大学祭を開催しました。

初開催の昨年と比べて規模拡大を目指し、今年度はサークルや有志などからも参加者を募りました。

「大学祭を盛り上げたい」という目的のもと、昨年度はなかった模擬店、音楽ライブ、ダンスイベントがクラブや有志の企画で開催に至り、来場者からの評判も上々でした。キャストイングでは大道芸人を3組呼び、幅広い年齢層・国籍の方にお楽しみいただけました。

昨年度と同様のイベントもご好評をいただきました。ビンゴ大会には大変多くの方が参加され、昨年度よりさらに賑やかな学祭になったことと思います。

実施した来場者アンケートを基に、来年度もより良い学祭になるように企画していきます。



学友会とは？

本学学生団体自治組織です。自主的に様々な活動を行っています。主な活動内容は、新入生歓迎会、親睦運動会、本学クラブ・サークル活動支援や大学祭など、本学学生が楽しい大学生活を過ごせるような活動を行っています。学友会メンバーは常に募集中です。

学友会会長からの メッセージ

令和6年度、学友会会長を務めます鈴木そらです。

4月から、新入生歓迎会、親睦運動会など、さまざまな企画を実施してきました。今後も、みなさまに楽しんでいただけるイベントを企画し学生生活の思い出の一部にすることができればと思っています。精一杯努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

また、新しい企画を作りたいというやる気のある方は、ぜひ学友会へお越しください。一緒に学内イベントを盛りあげましょう。



新入生
歓迎会
4月5日



親睦
体育大会
6月8日

クリスマス
ツリー設置
11月28日



クリスマス
イベント
12月18日



臨地実習レポート

看護学科1年生 宮本梨沙さん



実習名：基礎看護学実習Ⅰ
実習期間：2024年8月26日～2024年9月6日のうち5日間

入学して初めての臨地実習であり、非常に緊張していました。実習期間は一週間と長くなかったため、主体的に行動し、気になったことはすぐに質問することを意識して実習に臨みました。

実習中に気が付いたことはメモし、グループや先生と内容を共有して、理解を深めました。患者さんの持っている力を最大限発揮できるように看護師の方々が行動されている姿を自分の目で確認し、看護の難しさと奥深さを学びました。患者さんとのコミュニケーションでは、情報収集力、傾聴力を高める努力をするべきだと感じました。

患者さん一人ひとりに寄り添っている看護師の方の姿をみて、教科書からは得られないことを各自が学ぶことができました。これからも仲間と協力しあい、理想の看護師像に向けて努力し続けます。

看護学科3年生 服部遥風さん



実習名：領域別看護学実習
実習期間：2024年9月9日～2025年2月28日予定

今回の実習では、終末期や周術期、長期入院の患者さんを受け持ちさせて頂きました。患者さんの最期に寄り添うことや、長期入院での心身の影響など、あらゆる場面で看護をどう行うかについて考え、ケアを実施することが出来ました。また、入院前の日常生活になるべく近づけるように退院後を見据えた指導や看護ケアを行ってきました。

病院で働く看護師の方々をみて、患者さんを一人の人として愛情をもってケアを行う大切さに改めて気づくことが出来ました。残りの実習もこのことを意識して取り組んでいきたいです。

看護学科4年生 渡邊星奈さん



実習名：統合実習
実習期間：2024年5月7日～2024年5月17日

統合実習では、これまでの実習での学びを活かし、実践的な学びにつなげることができたと感じました。また、実際にケアを提供する中で、理論だけでなく、現場での判断力や柔軟な対応力が求められることも実感しました。これらから、毎日の実習を通じて、自己の看護スキルや考え方が確実に成長したと感じています。

また、グループの仲間と意見を共有し、互いに助け合うことで、より深い学びに繋がっていると感じました。これらの経験を今後の学びや実践に活かし、より良い看護師を目指していく姿勢を大切にしていきたいと感じた統合実習でした。

臨床検査学科3年生 大島よしのさん



実習名：総合臨床実習
実習期間：2024年6月3日～2024年8月30日

約3カ月間の臨地実習でとても多くのことを学ばせていただきました。生理検査部門での肺機能検査見学时に、先生から教えていただいた「患者さんにいかにやる気を出してもらえるかが大事だよ。」という言葉がとても印象に残りました。この検査に限らず、患者さん一人ひとりに合わせた接遇が迅速で正確な検査結果をだすことにつながっていくことを学ばせていただきました。

2つの施設での臨地実習で得た知識や経験を生かし、自分の目標とする臨床検査技師に一歩でも近づけるように今後も努力していききたいと思います。

看護学科授業風景

学内の様子

1年生 前学期 看護技術論Ⅰ



2年生 後学期 看護技術論Ⅱ



3年生 前学期 成人急性期看護援助論



9月領域別実習オリエンテーション



先輩からのアドバイスに耳を傾ける3年生 左から看護学科4年/相澤 紫以奈さん、岩田 侑夏さん

臨床検査学科授業風景

1年生 前学期 健康とスポーツ



2年生 後学期 生理機能検査学実習Ⅰ



3年生 後学期 公衆衛生学実習



就職・国家試験関係

看護学科4年生



看護師 9回、保健師 4回、助産師 4回の模擬試験を始め、夏期、冬期、直前の国家試験対策講座を実施しています。これ以外にも、9月から12月にかけて領域担当教員による学習会を行っています。

両学科、個別指導が必要な学生には担当教員が一人ひとりの学習状況を常に把握し、しっかりフォローしています。

就職内定状況(12月末現在) 看護学科 100% 臨床検査学科 59.3%

臨床検査学科4年生



臨床検査技師年間 14回の模試を始め、教員が独自にアレンジした学内模擬試験も行っています。また、細胞検査士のダブルライセンス取得に向けて対策講座を実施しています。